

てんかんセンター・小児神経科

I 著書	執筆タイトル	著者名	共著者／編者	書名	出版年.月	掲載頁	出版社名
	けいれん	榎日出夫	藤井克則 編	動画でわかる小児神経の診かた	2020.4	74-96	羊土社
	小児のてんかん	榎日出夫	福井次矢、高木誠、小室一成／編	今日の治療指針 2021年版	2020.12	1527-1529	医学書院
	乳幼児の頭痛	榎日出夫	永井良三、大曲貴夫、神田善伸、倉林正彦、中島淳、藤尾圭志／編	お医者さんオンライン	2020.11	https://www.premedi.co.jp/お医者さんオンライン/h00429/	プレジジョン
II 学術論文・総説	論文名	研究者名	共同研究者	掲載誌名	出版年	巻数(号数);掲載	
	Four cases of Panayiotopoulos syndrome evolving to juvenile myoclonic epilepsy	Enoki H	Itamura S, Baba S, Okanishi T, Fujimoto A.	Front Neurol	2020	11:591477	
	小児焦点てんかんにおけるペランパネル併用療法の有効性と安全性	榎日出夫	岡西徹、馬場信平、板村真司、藤本礼尚	新薬と臨床	2020	69(7);833-842	
	てんかんのオンライン診療によるセカンドオピニオン外来	榎日出夫	藤本礼尚	てんかん研究	2020	38(1);12-18	
	小児における睡眠中でのてんかん発作	榎日出夫		外来小児科	2020	23(2);215-220	
	脳波の読み方・考え方—基本的な読み方のポイント	榎日出夫		小児内科	2020	52(3);334-338	
	Possible role of high-dose barbiturates and early administration of parenteral ketogenic diet for reducing development of chronic epilepsy in febrile infection-related epilepsy syndrome: a case report	Baba S	Okanishi T, Ohsugi K, Suzumura R, Niimi K, Shimizu S, Sakihama H, Itamura S, Hirano K, Nishimura M, Fujimoto A, Enoki H	Neuropediatrics	2020	ePub ahead of print	
III 学会発表	演題名	演者	共同演者	開催数 学会名	開催年.月	開催地	
<指定講演・シンポジウム等>	社会に飛び立つ前に発作を止めたい—小児科医の考えるてんかん治療—	榎日出夫		第123回日本小児科学会学術集会 教育セミナー7	2020.8	WEB	
	易しく深くデジタル脳波の利点 ケーススタディ	榎日出夫		第50回日本臨床神経生理学会学術大会 主催セミナー1:脳波ハンズオン	2020.11	WEB	
	てんかんセンターにおける遠隔医療	榎日出夫	藤本礼尚	第62回日本小児神経学会学術集会 社会保険小委員会主催セミナー「小児神経と遠隔医療」	2020.8	WEB	
	小児期から始める妊娠前カウンセリング —てんかん—	榎日出夫		日本周産期・新生児医学会第38回周産期学シンポジウム	2020.2	浜松	
	てんかんセンターにおける遠隔医療	榎日出夫	藤本礼尚	第50回日本臨床神経生理学会学術大会 ワークショップ2「拡大するてんかんの遠隔医療」	2020.11	WEB	
<一般講演・その他の講演>	オンラインで未来を拓く —てんかん診療の行方—	榎日出夫		第20回東北てんかんフォーラム	2020.1	仙台	
	てんかんって どんな病気?	榎日出夫		日本でんかん協会静岡県支部「講演と個別相談の会」	2020.1	浜松	
	初めてのけいれん さあどうするか	榎日出夫		南予てんかんを考える会	2020.1	宇和島	
	頼りになる脳波 それほどでもない脳波	榎日出夫		第2回Epilepsy Education Seminar in 岐阜	2020.2	岐阜	
	小児てんかん治療は時間との勝負 シンプル処方でいこう —ペランパネルの臨床経験と今後への期待—	榎日出夫		てんかん診療 インターネットライブセミナー	2020.9	WEB	

	遠隔診療がてんかんにぴったりな訳	榎日出夫		てんかんWebセミナー	2020.12	WEB	
	視床下部過誤腫を持つ乳児の”trance-like state”はてんかん発作であるか？発作時脳波・機能画像による検証	馬場信平	岡西徹、中戸川裕一、榎日出夫	第62回小児神経学会学術集会	2020.8	web開催	
	超大量バルビツレート投与と経静脈ケトン食の早期導入により良好な予後が得られたAERRPSの1例	馬場信平	岡西徹、大杉浩一、先演大、平野啓子、藤本礼尚、榎日出夫	第123回小児科学会学術集会	2020.8	web開催	
IVその他	職務等	氏名	共同者名	会議名等	開催年月	開催地	URL
	シンポジウム座長	榎日出夫		第43回日本てんかん外科学会シンポジウム5 本邦におけるてんかん外科研究最前線	2020.1	浜松	
	シンポジウム座長	榎日出夫		第50回日本臨床神経生理学会学術大会 ワークショップ2「拡大するてんかんの遠隔医療」	2020.11	WEB	